

2-(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

学生支援組織

芸術学部・芸術研究科

	組織名	機能	年間利用件数		
			24年度	25年度	26年度
学生への保健・衛生対応	保健センター	《機能》 学生一人ひとりが、自己の健康管理に関心を持ち、豊かな学生生活を送ることができるよう、健康支援を行なう。 《スタッフ、対応時間》 専任保健師2名 非常勤4名(医師1名－毎週月曜日、看護師3名-土曜・日曜・祝日交代勤務) 9:00～18:00(月～金曜日)※長期休暇中9:00～17:00 9:00～18:00(土・日・祝日)	7,614	6,678	6,437
カウンセリング等の面談、メンタルヘルス相談	学生相談室	《機能》 日常生活の中で起こる様々な悩みや問題について共に考え、解決するための相談を行なう。 《スタッフ、対応時間》 専任カウンセラー1名 非常勤1名(医師1名－毎週火曜日) 10:00～18:00(月～金曜日) ※年間利用件数については、平成24年度より医師の面談件数を含む	721	584	650
就職支援、進学支援	キャリアデザインセンター	《機能》 就職や進学について個別相談や個別指導を行うとともに、大学全体の学生支援策を立案する。求人や企業説明会について企業開拓を行うとともに、企業と学生とのコーディネートも行う。 《スタッフ、対応時間》 専任職員3名 9:00～18:00(月～金曜日) 9:00～17:00(土曜日)	1,898	2,025	2083

芸術学部・芸術研究科

	組織名	機能
履修支援	教学事務室 教学支援グループ	新入生ガイダンス、在学生ガイダンス、履修相談、履修登録・履修修正、成績通知書配付、成績確認、履修相談、既修得単位認定、単位互換制度対応、転学科・転コース相談、休学・退学・復学・再入学・転籍・編入相談等を行なっている。
研究支援	教学事務室 教学支援グループ	〈芸術学部〉創作・研究補助制度の掲示、説明会の実施、申込書類のとりまとめ、審査会運営、採否連絡、授与式運営等の各種手続きを行なっている。 〈芸術研究科〉研究・制作・発表助成制度の掲示、説明会の実施、申込書類のとりまとめ、審査会運営、採否連絡、出金依頼受付等の各種手続きを行なっている。
生活支援	教学事務室 教学支援グループ	学費納入、学生会(代議員制度)、サークル、拾得物取扱、アルバイト募集の掲示、施設使用申込、生活上のトラブル相談、などの支援を行なっている。
経済支援	教学事務室 教学支援グループ	奨学金情報の掲示、採用説明会の実施、申込書類のとりまとめ、採否連絡、振込、返還等の各種手続きを行なっている。
留学生支援	留学センター	生活指導、学費納入、ビザ発給、各種伝達事項管理などの支援を行なっている。
障がいを持つ学生の支援	教学事務室 教学支援グループ・ 保健センター	障がいの種類により、学生生活窓口(教学事務室教学支援グループ)、保健センター、学生相談室と所属学科の教職員が連携し、支援体制をとっている。

通信教育部芸術学部・芸術研究科(通信教育)

	組織名	機能および具体的な支援体制
社会人入学生の支援	通信教育部 学務グループ	夏期スクーリング、冬期スクーリング期間中に、託児ルームを開設し1歳以上～未就学児を持つ学生の履修をサポートしている。利用者には一部経費負担も求めるが、運営に掛かる経費の90%以上は大学で負担し、便宜を図っている。
転籍学生への支援 (本学通学部から通信教育部への異動希望者)	通信教育部 学務グループ	通学部から通信教育部への転籍を希望する学生の窓口となる事務職員をそれぞれに置き、希望学生やその保護者と個別対応。
障がいを持つ学生の支援	通信教育部 学務グループ	聴覚障がい者のみへの対応として、コース専門教育科目スクーリング受講時に、介助者(スクーリングアシスタント)をアテンドさせる(内容は講義ノートのまとめ補助。学生本人からの要望を基に、コース研究室が判断する)。

2-(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

奨学金(平成26年度)

芸術学部・芸術研究科

奨学金の名称	学内・学外	給付・貸与	1人あたりの平均支給額	平成26年度採用人数	要件	申込方法
日本学生支援機構奨学金 第一種(自宅)	学外	貸与	51,753 (月額)	52	学部1～4年生対象 3万・5万4千円から選択。 学力基準 1年生 (1) 高等学校最終2か年又は専修学校高等課程最終2か年の成績が3.5以上。 (2) 高等学校卒業程度認定試験もしくは大 学入学資格検定合格者で、上記(1)に 準ずると在学学長から認められる者。 2年生以上 大学における学業成績が本人の属する学部(科)の上 位1/3 以内の者。 家計基準 家計の基準額は、世帯人員によって異なる。本人の父 母又はこれに代って家計を支えている人(主たる家計 支持者一人)の収入金額が選考の対象。	4月にガイダンスを実施、4月下旬提出締切。 ガイダンスに出席し、申込書類を受取り、記入 後教学事務室窓口へ提出。
日本学生支援機構奨学金 第一種(自宅外)	学外	貸与	59,750 (月額)	63	学部1～4年生対象 3万・6万4千円から選択。 学力基準 1年生 (1) 高等学校最終2か年又は専修学校高等課程最終2か年の成績が3.5以上。 (2) 高等学校卒業程度認定試験もしくは大 学入学資格検定合格者で、上記(1)に 準ずると在学学長から認められる者。 2年生以上 大学における学業成績が本人の属する学部(科)の上 位1/3 以内の者。 家計基準 家計の基準額は、世帯人員によって異なる。本人の父 母又はこれに代って家計を支えている人(主たる家計 支持者一人)の収入金額が選考の対象。	4月にガイダンスを実施、4月下旬提出締切。 ガイダンスに出席し、申込書類を受取り、記入 後教学事務室窓口へ提出。
日本学生支援機構奨学金 第二種	学外	貸与	75,538 (月額)	338	学部1～4年生対象 3万・5万・8万・10万・12万円から選択。 学力基準 (1) 出身学校又は大学における学業成績 が平均水準以上と認められる者。 (2) 特定の分野において特に優れた資質 能力を有すると認められる者。 (3) 大学における学修に意欲があり、学業 を確実に修了できる見込みがあると認 められる者。 (4) 高等学校卒業程度認定試験もしくは大 学入学資格検定合格者で、上記に準 ずると認められる者。 家計基準 家計の基準額は、世帯人員によって異なる。本人の父 母又はこれに代って家計を支えている人(主たる家計 支持者一人)の収入金額が選考の対象。	4月にガイダンスを実施、4月下旬提出締切。 ガイダンスに出席し、申込書類を受取り、記入 後教学事務室窓口へ提出。
日本学生支援機構奨学金 第一種	学外	貸与	66,625 (月額)	16	院生対象 修士5万・8万8千円、博士8万・12万2千円から選択。 学力基準 大学等並びに大学院における成績が特に優れ、将来、 研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な 高度の能力を備えて活動することができると認められる 者。 家計基準 本人の収入金額合計(配偶者がいる場合は、配偶者の 収入を含む。ただし、定職収入がある場合が対象。)が 収入基準額(修士:374万円、博士:425万円)以下が選 考の対象となる。 定職収入が給与所得以外の場合は、収入金額から必 要経費を控除した額となる。	4月にガイダンスを実施、4月下旬提出締切。 ガイダンスに出席し、申込書類を受取り、記入 後教学事務室窓口へ提出。
日本学生支援機構奨学金 第二種	学外	貸与	58,571 (月額)	7	院生対象 5万・8万・10万・13万・15万円から選択。 学力基準 (ア) 大学等並びに大学院における成績が 優れ、将来、研究能力又は高度の専 門性を要する職業等に必要な高度の 能力を備えて活動する ことができると認められる者。 (イ) 大学院における学修に意欲があり、学 業を確実に修了できる見込みがあると 認められる者。 家計基準 本人の収入金額合計(配偶者がいる場合は、配偶者の 収入を含む。ただし、定職収入がある場合が対象。)が 収入基準額(修士:536万円、博士:718万円)以下が選 考の対象となる。 定職収入が給与所得以外の場合は、収入金額から必 要経費を控除した額となる。	4月にガイダンスを実施、4月下旬提出締切。 ガイダンスに出席し、申込書類を受取り、記入 後教学事務室窓口へ提出。
学資奨学金	学内	貸与	0	0	昨年度から廃止	昨年度から廃止

2-(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

奨学金(平成26年度)

芸術学部・芸術研究科

奨学金の名称	学内・学外	給付・貸与	1人あたりの平均支給額	平成26年度採用人数	要件	申込方法
学費減免	学内	給付	115,000 (給付額平均)	80 (平成25年度実績)	学部2～4年生対象 経済的困窮度の高い上位80名を減免対象とする。 80名のうち、60名に対し1人20万円、20名に対し10万円給付する。 学力基準 標準的な単位数を修得していること。留年不可。(2年生:30単位以上、3年生:62単位、4年生:90単位以上) 家計基準 総務省家計調査・年間収入五分位階級別第1階級以下であること。※父母年収(所得証明書における給与収入額)が433万円以下(自営業等は所得金額80万円以下)であること。共働きの場合は、父母二人の収入を合算。	9月中旬願書配布、10月初旬提出締切。教学事務室窓口で配布される願書を受取り、記入後必要書類とともに提出。
蒼山会奨学金	学内	貸与	0	0	昨年度から廃止	昨年度から廃止
加藤定育英会奨学金	学外	給付	30,000 (月額)	2	学部3・4年生、院生対象 学業優秀、品行方正、就学に耐えうる健康体でありながら、経済的事由によって就学に支障をきたしている者。	7月末提出締切。 要件に該当する候補者を大学にて選出・選考し、推薦する。
佐藤国際文化育英財団奨学金	学外	給付	30,000 (月額)	2	学部、院共通対象 以下の条件を満たしている者。 (1)日本画及び油画(版画を含む)を専攻中の者。 (2)学業、人物ともに優秀であり、かつ健康である者。 (3)学費の支弁が困難と認められる者。 (4)例会など財団が指定する行事に毎回出席できる者。 (5)年齢は原則として35歳未満の者。	4月末提出締切。 日本画・洋画コースより要件に該当する候補者を大学にて選出・選考し、推薦する。
香雪美術館奨学金	学外	給付	50,000 (月額)	1	学部1～4年生対象 兵庫県内の高校の卒業生(あるいは両親が同県内に在住する者)で、財団法人香雪美術館が指定する関西の大学、短期大学の美術、美術・芸術理論・美術史・文化財保存などを専修する学業優秀者。	4月初旬願書配布、4月末提出締切。 教学事務室窓口で願書を受取り、必要書類とともに提出。
あしなが育英会奨学金	学外	貸与	40,000 (月額)	1	学部1～4年生対象 保護者(父または母)が、病気や災害(道路における交通事故を除く)もしくは自死(自殺)などで死亡したり、それらが原因で著しい後遺障害を負い、教育費に困っている家庭の子供。 (注)保護者が死亡したり後遺障害者になったときの子供の年齢が20歳以上の場合は奨学生の対象外。	5月末提出締切。教学事務室窓口で願書を受取り、必要書類とともに提出。
交通遺児育英会奨学金	学外	貸与	60,000 (月額)	1	学部、院共通対象 大学(短期退学も含む)および大学院に在籍している29才までの学生で、保護者等が道路上の交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のために働けなくなった家庭の子女。	5月初旬願書配布、6月初旬応募締切。※学部のみ二次募集有。(11月上旬締切) 教学事務室窓口で願書配布。必要書類を準備後、直接本人が育英会へ提出。
中信育英会奨学金	学外	給付	20,000 (月額)	1	2回生対象 学業優秀、品行方正でありながら経済的事由により修学が困難な者。 留学生は除く。	3月末提出締切。教学事務室窓口で願書を受取り、記入後必要書類とともに窓口へ提出。応募者の中から推薦者1名を大学にて選考する。
滋賀県保育士修学資金	学外	貸与	25,000 (月額) 入学準備金 200,000 就職準備金 200,000	1	原則として滋賀県に住民登録している者であって、保育士を養成する学校その他の施設に在学し、卒業後、滋賀県内の施設等において、保育士として従事する意思を有する者。	5月初旬公募、こども芸術学研究室で願書配付、受付、選考。
川西市奨学資金	学外	貸与	30,000 (月額)	0	優秀な学生であって、かつ家庭の経済的状況から真に本奨学資金の貸付が必要と認められる者。	6/3～14 川西市教育委員会事務局学校教育室で学務課必着。
三菱商事復興支援財団	学外	給付	100,000 (月額)	1	2011年3月11日に発生した東日本大震災によって経済状況が急変(悪化)し、学業継続が困難な状況にある学生。 家計基準:本震災の影響により家計が急変する事由が生じ、経済的困窮度が高いことを在籍大学が認める学生。 学力基準:学習意欲の高い学生。	大学の推薦のもと、願書(兼推薦書)に罹災証明書を添付して、教学事務室窓口へ提出。
特待生	学内	給付	463,500 (年間授業料半額)	6	院生(修士)対象 年間授業料の半額を免除。 1年生 学業・人物ともに優秀な学生。 2年生 学業・人物ともに優秀な学生であり、入学時に特待生に選抜されていない者。	1年生 出願者のうち志望者のみ対象。前期日程入学試験の結果を参考にして選考する。 2年生 5月頃に前年度の成績等を参考に総合的に判断し選考する。(手続不要)
特待生	学内	給付	927,000 (年間授業料全額)	2	院生(博士)対象 年間授業料を全学免除。 学業・人物ともに優秀な学生。	1年生 入学試験の結果を参考にして選考する。(手続不要) 2年生以上 5月頃に前年度の成績等を参考に総合的に判断し選考する。(手続不要)

2-(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

奨学金(平成26年度)

芸術学部・芸術研究科

奨学金の名称	学内・学外	給付・貸与	1人あたりの平均支給額(入学金全額)	平成26年度採用人数	要件	申込方法
外国人留学生入学金免除	学内	給付	200,000(入学金全額)	22(平成27年度4月現在入学者数)	大学院新入生対象 入学金を全額減免(※平成24年度入学生より制度改正)	申込不要
外国人留学生入学金免除	学内	給付	200,000(入学金全額)	36(平成27年度4月現在入学者数)	学部新入生対象 入学金を全額減免(※平成24年度入学生より制度改正)	申込不要
外国人留学生奨学金	学内	給付	200,000(年額)	8(修士課程各学年4名)	大学院修士課程・私費留学生対象 以下の条件を満たしている者 (1) 本学大学院の修士課程に正規生として在籍する外国人留学生であること (2) 学業、人物ともに優れていること (※平成26年度入学生より制度改正)	申込不要。大学院にて推薦。
外国人留学生奨学金	学内	給付	60,000(月額)	8(受給対象者の上位10%以内) (平成27年5月現在総給付人数)	学部・私費留学生対象 以下の条件を満たしている者 (1) 京都造形芸術大学 芸術学部の2回生以上に在籍している私費外国人留学生であること (2) 2014年度(1年間)の成績を本学で取得し、学内GPAが3.0以上であること (3) 学業、人物ともに優れていること (4) 学習奨励費など、その他の奨学金を受給していないこと	4月応募書類提出。 留学センター(現 国際交流センター)で配布される 願書を受取り、記入後必要書類とともに提出。
外国人留学生奨学金	学内	給付	50,000(月額)	8(受給対象者の上位10%~20%以内) (平成27年5月現在総給付人数)	学部・私費留学生対象 以下の条件を満たしている者 (1) 京都造形芸術大学 芸術学部の2回生以上に在籍している私費外国人留学生であること (2) 2014年度(1年間)の成績を本学で取得し、学内GPAが3.0以上であること (3) 学業、人物ともに優れていること (4) 学習奨励費など、その他の奨学金を受給していないこと	4月応募書類提出。 留学センター(現 国際交流センター)で配布される 願書を受取り、記入後必要書類とともに提出。

2-(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

課外活動への支援(平成26年度実績)

芸術学部のみ

活動支援の名称	学内・学外	給付・貸与	1件あたりの金額	平成26年度採用人数	要件	申込方法
優秀学生賞	学内	給付	50,000	45	3回生修了時点までの成績や研究制作実績を評価し、研究・制作活動に秀でた優秀な4回生を表彰する。1人あたり50,000円を支給。	申込不要
海外留学補助(交換留学) ※1	学内	給付	100,000	10	1人あたり100,000円を支給。	留学センター(現 国際交流センター)を通じて申請。(随時)
海外体験補助(自主企画海外研修) ※1	学内	給付	50,000	4	1人あたり50,000円を支給。	留学センター(現 国際交流センター)を通じて申請。(随時)
語学試験補助(英語学習) ※1	学内	給付	3,000 / 10,000	23	IELTS/TOEFL受験補助:1人あたり10,000円を支給。 TOEIC受験補助:1人あたり3,000円を支給。	留学センター(現 国際交流センター)を通じて申請。(随時)
就職活動支援 ※1	学内	給付	5,000	413	1人あたり5,000円を支給	キャリアデザインセンターを通じて申請。(随時)
創作・研究活動補助 ※1	学内	給付	上限なし (全件合計で上限 2,000,000)	5	申請に基づき創作・研究活動に必要な額を精査し支給	6月上旬に説明会実施、6月末に申請締切。教学支援グループにて申請書を受け取り、計画書等と合わせて申請。
対外文化活動補助 ※1	学内	給付	上限50,000	31	1回の活動で最大50,000円を支給	教学支援グループにて申請書を受け取り、DM等と合わせて申請。(随時)

※1…蒼山会(京都造形芸術大学保護者会)による支援

2-(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

奨学金（平成26年度実績）

通信教育部芸術学部・芸術研究科（通信教育）

奨学金の名称	学内・学外	給付・貸与	1人あたりの月額平均支給額	平成26年度採用人数	要件	申込方法
学習支援奨学金（大学院）	学内	給付	12,500	2	学習が通算3年以上となる場合に授業料を2割減免（2013年度までの適用者は3割減免）。	個別の申込不要。 授業料請求時に大学にて一括処理（授業料請求から奨学金分を減免する）。
学習支援奨学金（学部：芸術学科）	学内	給付	5,030	186	同一コースでの学習が通算5年以上となる場合に授業料を2割減免（2013年度までの適用者は3割減免）。ただし、下記の年限退学時再入学奨学金受給者、卒業後再度入学奨学金受給者、併修生奨学金受給者への重複支給は行わない。	
学習支援奨学金（学部：日本画・洋画）	学内	給付	6,037	182		
学習支援奨学金（学部：陶芸・染織）	学内	給付	6,598	97		
学習支援奨学金（学部：写真・デザイン科）	学内	給付	7,057	275		
年限退学時再入学奨学金（大学院）	学内	給付	18,750	1		
年限退学時再入学奨学金（学部：芸術学科）	学内	給付	5,240	72	年限退学時再入学制度（在籍年限終了の翌年度に同一コースに入学）による入学者に在籍期間を通じて授業料を2割減免（2013年度までの適用者は3割減免）。	
年限退学時再入学奨学金（学部：日本画・洋画）	学内	給付	6,327	54		
年限退学時再入学奨学金（学部：陶芸・染織）	学内	給付	6,818	22		
年限退学時再入学奨学金（学部：写真・デザイン科）	学内	給付	7,197	95		
内部進学奨学金（大学院）	学内	給付	15,846	99	内部進学制度（通信教育部卒業、博物館学芸員資格課程修了後入学）、大学院進学準備制度による入学者に在籍期間を通じて授業料を2割減免（2013年度までの適用者は3割減免）。	個別の申込不要。 授業料請求時に大学にて一括処理（授業料請求から奨学金分を減免する）。
卒業後再度入学奨学金（学部：芸術学科）	学内	給付	5,524	23	卒業後再度入学制度（コース卒業後、同一コースまたは別コースに入学）による入学者に在籍期間を通じて授業料を2割減免（2013年度までの適用者は3割減免）。	
卒業後再度入学奨学金（学部：日本画・洋画）	学内	給付	6,002	5		
卒業後再度入学奨学金（学部：陶芸・染織）	学内	給付	5,833	3		
卒業後再度入学奨学金（学部：写真・デザイン科）	学内	給付	7,739	8		
併修生奨学金（学部：洋画）	学内	給付	3,917	3	提携する交流校（専門学校）との併修生に在籍期間を通じて授業料を減免。	
併修生奨学金（学部：情報デザイン）	学内	給付	3,861	18		
日本学生支援機構奨学金（学部：第一種）	学外	貸与（無利子）	7,333	2	夏期スクーリング受講時に奨学金貸与（年間1回）。	
日本学生支援機構奨学金（学部：第二種）	学外	貸与（有利子）	10,000	3	夏期スクーリング受講時に奨学金貸与（年間1回）。	
日本学生支援機構奨学金（学部：第一種）	学外	貸与（無利子）	7,333	1	冬期スクーリング受講時に奨学金貸与（年間1回）。	
日本学生支援機構奨学金（大学院：第一種）	学外	貸与（無利子）	69,000	6	修了年限（2年間、24ヶ月）、毎月貸与。	
日本学生支援機構奨学金（大学院：第二種）	学外	貸与（有利子）	50,000	2	修了年限（2年間、24ヶ月）、毎月貸与。 ※うち1名は11月末付退学のため、貸与期間4～11月。	

課外活動への支援（平成26年度実績）

通信教育部芸術学部・芸術研究科（通信教育）

活動支援の名称	学内・学外	給付・貸与	1人あたりの金額	平成26年度採用人数	要件	申込方法
学生創作研究助成金制度※1	学内	給付	165,000	3	—	通信教育部の学生は47都道府県に在住している。その自らが生きる場所や地域、世界のなかで、新しい芸術環境を創出する方法の習得を本制度の目標とする。 助成金額は1件あたり上限20万円とし、申請書類による審査を経て暫定的助成額を6月に決定し通知する。最終的助成金額は実施報告書による審査を経て、2月に決定し支給する。
学習会活動支援	—	—	—	19	学生が自主的に開催する学習会に対して、一定の基準を満たす場合に、学生からの申請により教員を派遣する必要がある。その場合の派遣にかかる経費を大学で負担する。	実施一ヶ月前までに大学へ申込。